

叙勲受章おめでとうございます

長年、各分野の発展のため貢献された方に贈られる平成24年春の叙勲・褒章及び危険業務従事者叙勲が内閣府より発表されました。

受章者の皆さん、おめでとうございます。

春の叙勲／瑞宝単光章【統計調査功労】

上宮 博さん（石塚）

昭和32年に県農業基本調査の調査員に任命されて以来、国勢調査（10回）や農林業センサス（11回）など各種統計調査の調査員を長年務められました。上宮さんは、「何度も足を運んで調査用紙に記入し



ていただいたこともあったが、皆さんのご協力により、長年調査員を務めることができた。」と話されました。

町内にお住まいの叙勲受章者の方で広報紙へ掲載のご了解をいただける方は下記までご連絡ください。
連絡先 総務課 広報担当 ☎029-288-3111（内線211）

6/9 休耕田にメダカの学校を開校

錫高野区

錫高野区の環境美化に取り組む「みどりネット錫高野」では、休耕田を活用した観察池「めだかの学校」をつくりました。

この「めだかの学校」は、メダカの生態系保全活動の一環として計画されたもので、同様の事業を行っている笠間市土師（はじ）地区を視察するなどして、設置場所や方法が検討されてきました。

そして、今年4月下旬から5月にかけて、休耕田となっていた場所の除草や杭打ちが行われ、見事な観察池を作りあげました。

この日行われた開校式では、桂中学校で育てたメダカ約300匹を地元の子もたちが池に放流。参加者全員で童謡「めだかの学校」を合唱し、放流したメダカの成長を願いました。

この「めだかの学校」は、三世代交流の場として今後も地域の人々の手で大切に守られていきます。



春の叙勲／瑞宝単光章【消防功労】

加藤木 要さん（孫根）

昭和42年12月に消防団に入団。平成13年4月から桂村消防団団長、町村合併後は城里町桂消防団団長として35年にわたり町消防団発展のために尽力されました。



加藤木さんは、「家族と消防団員の協力があつたから長年消防団の活動を続けてこられた。」と話されました。

危険業務従事者叙勲／瑞宝単光章【防衛功労】

大森 洋一さん（上青山）

昭和45年に陸上自衛隊に入隊、3等陸尉として54歳で退職するまでの34年間、国の安全を守るために尽力されました。



大森さんは、「長年勤めてこられたのは、家族の協力と自衛隊の先輩方のおかげです。」と話されました。

5/28 キラッ！と光って事故を防止

常北保健福祉センター

町と笠間警察署では、反射材の着用を推進し、高齢者の夜間の事故防止を呼び掛けるため、昨年に引き続き、各高年者クラブの代表者に反射材着用推進リーダーを委嘱しました。

笠間警察署の板東敬雄署長は、あいさつの中で「昨年起きた夜間の高齢者死亡事故は県内で26件あったが、いずれも反射材は着用していなかった。」と反射材の必要性について述べ、「病気が原因で事故を起こすケースもあるので、運転するときの体調管理にも気をつけてほしい。」と高齢者の安全運転についても呼びかけました。



SPORTS

5/13-20

平成24年度第1回城里町軟式野球連盟大会 常北運動公園ほか

町内の12チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。試合結果は次のとおりです。



▲優勝 レジェンド

【大会結果】 優勝 レジェンド
準優勝 城里球友会 第3位 ナックルズ

5/20

春季ママさんバレーボール大会 常北公民館体育室

町内6チームが参加して行われた大会の結果は次のとおりです。

【大会結果】
優勝 フレンズ
準優勝 ドリーム
第3位 アクセス
桂スパーク



▲優勝 フレンズ

6/2

水戸ホーリーホック「城里町の日」 ケーズデンキスタジアム水戸

サッカーJ2リーグ水戸ホーリーホックのホームゲーム(対栃木SC戦)に城里町民が無料招待されました。

試合当日は、「城里町の日」として、サッカー少年団による前座試合やハーフタイムを利用して城里町を紹介するイベントなどが行われました。

また、メインスタンド席では、町民およそ300人が試合を観戦し、ホーリーホックの選手に声援を送りました。



▲常北サッカー少年団対桂サッカー少年団の試合が行われました。



5/17

あっと驚くマジックを体験!

上青山公民館

サロン上青山では、マジック歴40年の高野邦夫さん(水戸市在住)を招いて、マジックショーと簡単にできるマジックのミニ講座が行われました。

高野さんによる華麗なマジックが披露された後、今度はサロンの参加者らが輪ゴムを使って簡単にできるマジックを体験しました。



見るのと違い、実演はなかなかうまくいかないもの。参加者は、高野さんに手ほどきを受けながら、何度も繰り返し、マジックの技に挑戦していました。

5/22

第37回茨城トヨペット ふれあいグリーンキャンペーン

ホロルの湯

茨城トヨペット(株)では、緑豊かな街づくりをめざし、社会貢献の一環として、昭和51年から毎年県内の施設に苗木を贈呈しています。震災のため、規模縮小で行われた昨年に続き、今年も城里町を会場として行われました。

式典では、幡谷定俊代表取締役社長から目録(シダレザクラ18本)と、緑の大使(2012ミス・ワールド日本代表)の五十嵐希さんから国土緑化推進機構理事長のメッセージが阿久津町長に贈呈されま



した。

今回寄贈された苗木は植樹に適した時期に、ふれあいの里に植樹される予定です。

6/6

美しい花が寄贈されました

常北公民館ほか

城北ライオンズクラブと社団法人水戸法人会城里地区会からマリーゴールド、サルビアなどの花の苗、約1,000株が公民館(常北、七会)、コミュニティセンター城里、各支所、七会診療所に贈られました。15年目となる今年も、会員の皆さんの手によって、常北公民館前の花壇に1本1本丁寧に



に花の苗を植えていただきました。

色とりどりの美しい花々が、来館する皆さんの目を楽しませてくれることと思います。